

## 令和7年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	63	学校名	県立袋井高等学校	校長名	藤村 寿一
------	----	-----	----------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	【担当】成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	生徒の「志」を育てながら、進路実現に向けたきめ細かな進路指導を推進する。	【進路研修課】「補講や進路学習は、進路目標達成のために役立っている」と答える生徒70%以上。	生徒アンケートで85.0%	A	教員アンケートでは、「進路及び将来の職業選択に関するキャリア教育が推進されている」90.7%、「本校の進路指導について理解している」93.0%であった。教職員の進路指導に対する共通理解と協力体制が本校の充実した進路指導を支えている。次年度も、進路研修課を中心に全教職員でよりよい進路指導のあり方を検討し、実施していきたい。
		【教務情報課】「通知表、成績個票等により自分の学力と課題を把握できた」と答える生徒90%以上。	生徒アンケートで92.8%	A	Cラーニングで作成、配信する成績個票では3教科や5教科、各科目の偏差値推移が記載されるので、来年度も継続するとともに、迅速な個票返却をする。
		【各学年】1年：「自ら進路について考え、文理選択を行えた」と答える生徒90%以上。 2年：「自分の進路希望に合ったコース・科目選択ができた」と答える生徒90%以上。 3年：「進路実現に必要な情報を収集し、志望校合格に向けた計画と準備ができています」と答える生徒90%以上	生徒アンケートで1年生93.9% 2年生91.6% 3年生96.3% 全体93.7%	A	【1年：A】生徒の希望と1クラス当たりの適正人数とのバランスをとる必要がある。 【2年：A】次年度は主体的に進路選択ができるよう、資料の提供や声かけをしたい。 【3年：A】個々の生徒に合わせた支援が行われた。
		【進路研修課】 「外部模試等の結果をその後の学習に生かすことができた」と答える生徒が70%以上。 主な模擬試験について事前・事後の指導を行う。	生徒アンケートで72.7%	A	全ての模試において、事前・事後指導を行った。年度当初、英数国の「実戦問題集」を作成し、事前指導に活用した。また、「合格ライン」を使った目標点数の設定や解き直し、復習問題などの指導を行っていただいた。1つずつの丁寧な指導・支援が、生徒の学力向上につながっていると感じる。生徒が自信を持てるように、希望進路を実現できるように、次年度も充実した指導を継続していきたい。

様式第3号

イ	<p>基礎・基本と自律的学習習慣を身につけるため、予習・復習の習慣と生徒自身の振り返りを奨励する。</p>	<p>【各学年】「自分で計画を立てて目標の家庭学習時間(平日：1・2年2時間/3年4時間、休日1・2年3時間/3年6時間)を確保できた」と答える生徒70%以上。 「学習方法の見直しや改善ができています」と答える生徒70%以上。</p>	<p>生徒アンケートで1年生42.8% 2年生40.3% 3年生82.4% 全体53.3%</p> <p>生徒アンケートで1年生62.0% 2年生64.3% 3年生91.5% 全体71.3%</p>	<p>B</p> <p>【1年：C】10月の平日平均80.2分、休日平均104.4分であった。今年度は模試の事前指導を中心に学習方法改善に向けた声掛けを行ってきた。「できなかったことができるようになる」ためには「どのように」やるかを引き続き指導していきたい。</p> <p>【2年：C】生徒個々の志望を実現するために、学習の取組について繰り返し呼びかけ、改善を促したい。</p> <p>【3年：A】夏季補講などを通じて、受験生としての自覚が高まった結果であると感じる。</p>
ウ	<p>授業研究、ICT、教育研究の知見を活用して時代に合った授業改善を推進する。</p>	<p>【各教科】「アクティブ・ラーニング型授業、ICT活用、振り返りなど教材・教え方に様々な工夫をしている先生が多い」と答える生徒75%以上。 「積極的に発言できた」と答える生徒70%以上。 「受け身でなく積極的に授業に取り組めた」と答える生徒70%以上。 「授業で扱う内容に興味・関心を深めた」と答える生徒70%以上。</p>	<p>生徒アンケートで83.2%</p> <p>生徒アンケートで67.2%</p> <p>生徒アンケートで92.6%</p> <p>生徒アンケートで85.7%</p>	<p>B</p> <p>【国語：B】7月実施のアンケートと比べ、12月実施のアンケートでは肯定的な回答が増えている。今後も生徒主体の授業展開になるよう工夫したい。</p> <p>【地公：B】生徒の発言機会が多い授業を作っていきたい。</p> <p>【数学：B】生徒が自らの意見を発表する機会を設ける工夫をし、実施していきたい。</p> <p>【英語：A】全項目で上昇が見られ良い傾向であるので、主体的に取り組む姿勢を大切にしながら英語の技能を高めたい。</p> <p>【理科：B】概ね目標は達成できたが、発表や対話の機会を今後も多く作っていきたい。</p> <p>【保体：A】積極的に発言する項目に関しては、科目の特性上、低くなるがどの生徒も十分なコミュニケーションを取りながら実技を実施している。最新のデータや生徒の生きる力となる授業改善をしていく。</p> <p>【家庭：B】全て昨年よりポイントが上昇したが、さらに来年度、発言の機会を取り入れたグループワーク等の工夫をする。</p> <p>【情報：A】発問内容を工夫して生徒が自然と発言できるようにしたい。</p>

	<p>【進路研修課】「探究の時間は生徒の意識啓発につながっている」と答える教職員 80%以上。 「探究活動をとおして自分の興味や関心を深めたり、広げたりすることができた」と答える生徒 90%以上。 校外での課題発表大会や探究型の研修会に参加する生徒 50人以上。</p>	<p>教員アンケートで 93.0%  生徒アンケートで 79.7%  138人 (1/21 現在) 自主 FW は 77 件</p>	A	<p>デザイン思考を用いた探究活動を始めて 4 年目になるが、毎年進化してきている。次年度も探究活動の目的や意義を全教職員で共有し、進路指導との連携を密にすることで、生徒の未来を切り拓く探究活動を展開していきたい。</p>
	<p>【国語科】「授業をとおして、文章を的確に読み取り、場面に応じて自分の考えを話したり、書いたりする力がついた」と答える生徒 70%以上。</p>	<p>生徒アンケートで 90.2%</p>	A	<p>知識技能を確実に定着させるだけでなく、身につけた知識技能を読解や表現という形で生徒自らが活用する場面を多く設けていきたい。</p>
	<p>【地歴公民科】「授業、課題、定期テストなどをとおして、現代の社会や歴史について考える力を身につけることができた」と答える生徒 70%以上。</p>	<p>生徒アンケートで 88.7%</p>	A	<p>今後も生徒が主体的に考える場面の多い授業を作っていくたい。</p>
	<p>【数学科】「授業や課題、定期テスト等をとおして、論理的に考える力が伸びた。」と答える生徒 70%以上。</p>	<p>生徒アンケートで 85.6%</p>	A	<p>今後も丁寧な指導・支援を続けていきたい。</p>
	<p>【英語科】「授業をとおして、読んだり聞いたりした内容を基に、主語と動詞の整った自分の考えを伝える英文を書く力をつけることができた。」と答える生徒 70%以上。</p>	<p>生徒アンケートで 85.2%</p>	A	<p>知識技能分野の学習と表現活動を関連付け、自分の考えを適切に表現する能力の育成を継続して行う。</p>
	<p>【理科】「発表や対話をとおして、他の意見を手掛かりに自分の考えを広げたり深めたりできた」と答える生徒が 70%以上。</p>	<p>生徒アンケートで 82.7%</p>	A	<p>授業内での発表や対話の機会を今後も多く作っていきたい。</p>

様式第3号

		【保健体育科】「体育の授業で知識と実践する態度を養うことができた」と答える生徒 80%以上。	生徒アンケートで 95.0%	A	近年の中でも、特に高水準の値であった。様々な工夫や共有をした成果である。幅広い能力の生徒に対応できるよう種目の変更や実施方法を再考していく。
		【家庭科】「授業をとおして、今の自分の実生活上のためにつながる知識や技術が身に付いた」と答える生徒 80%以上	生徒アンケートで 91.4%	A	今後この身に付けた知識を実生活で使い続けられるような問いかけを研究したい。
		【情報課】「情報の授業で情報に関する知識や技術が向上した」と答える生徒 70%以上	生徒アンケートで 89.3%	A	日常的に使うことを意識した授業を行いたい。
エ	部活動、学校行事、HR活動、生徒会活動等とおして文武バランスの取れた学校生活を送れるようにする。	【生徒課】県大会出場部活 7 以上。「19 時 30 分までに完全下校した」と答える生徒 95%以上。	県大会出場部活：7 生徒アンケートで 94.0%	B	完全下校を徹底するとともに、短時間で質の高い活動を心掛けて、生徒の目標達成を目指したい。
		【生徒課】「部活動、生徒会活動、探究活動、学校外の各種活動に積極的に取り組んだ」と答える生徒 80%以上。 「学校行事や生徒会活動への取組をとおして創造力・企画力・運営力、協働性等が向上した。」と答える生徒 70%以上	生徒アンケートで 89.5% 生徒アンケートで 90.7%	A	生徒主体の動きが見えてきた。毎日の学校生活・授業に活かしていきたい。
オ	挨拶、身だしなみ、言葉遣い、清掃、自律的な生活等の基本的な生活習慣の確立をとおして生徒の公共性と自律心を育てる。	【生徒課】「頭髪・服装のルールを守っている」と答える生徒 95%以上。 「明るい挨拶や場面に応じて言葉遣いができている」と答える生徒 85%以上。	生徒アンケートで 96.3% 生徒アンケートで 92.7%	A	社会性が身につけてきている。今後、よりよい袋井高校を作り上げていきたい。
		【生徒課】「一旦停止や並進をしないなどのルールを守って登校している」と答える生徒 90%以上。	生徒アンケートで 96.6%	A	交通事故の件数が減少している。今後も継続して注意喚起をしていきたい。

		<p>【保健厚生課】「清掃時に級友と協力して、担当場所をきれいに清掃できた」と答える生徒80%以上。 「みんなが使うものを大事に使うことができている」と答える生徒が90%以上。</p>	<p>生徒アンケートで97.7%  生徒アンケートで97.9%</p>	<p>A</p>	<p>大掃除の際の、担当外の生徒の役割・居場所が今後の課題である。ほとんどの生徒が公共の精神を保っていると考えている。</p>
<p>カ</p>	<p>読書、ボランティア活動、地域活動、国際交流、大学連携等をとおして地域や国際社会で活躍できる知見と豊かな人間性を育成する。</p>	<p>【図書課】図書館の本の貸出冊数が平均3.8冊以上。 「学校図書館は学習活動の充実に役立っている」と答える教職員90%以上。 「学習活動等の学校生活に役立っている」と答える生徒80%以上。</p>	<p>平均貸出冊数3.2冊 (1/14現在) 教職員アンケートで88.4%  生徒アンケートで88.4%</p>	<p>B</p>	<p>図書館の充実に関しては95%以上が当てはまると回答。より興味関心の持てる本を揃え、居心地の良い図書館整備に努める。また、授業での図書館利用を促すなど、来館者や貸し出し冊数を増やしていきたい。 資料の充実と図書館についての一層の周知（特に教職員）に努め、来館を促したい。</p>
		<p>【進路研修課】国際交流活動プログラムを再構築し、企画・運営する。校外の国際交流プログラム、留学に関する情報提供を充実させる。</p>	<p>モンゴル国・ドルノゴビ県高校生相互交流事業に1年生1名が応募して一次審査に合格した(二次審査不合格)。 4月17日(木)～20日(日)、姉妹校(トマス・ハッサール・アングリカン・カレッジ)の生徒12名が、本校生徒の7家庭にホームステイした。</p>	<p>A</p>	<p>4月17日には体育館で全校生徒による歓迎集会を開催した。18日には姉妹校生徒が本校授業に参加したり部活動見学を行ったりして本校生徒との交流を深めた。 オーストラリア研修(令和8年3月17日～3月23日)に向けた準備、指導、説明会を行っている。 次年度は姉妹校交流がない年度なので、校外の国際交流プログラムや留学に関する情報提供を今年度以上に充実させたい。また、校内での国際交流プログラム「Power in Me(12/22～24)」を実施する。</p>
		<p>【管理職】連携大学への研究室訪問に延べ50人以上の生徒が参加する。</p>	<p>静岡理工科大学との交流プログラム@sist(研究室訪問):108名参加</p>	<p>A</p>	<p>2回目(2学期)の日程を期末テスト時から中間テスト時に改めて参加人数が増加した。次年度は生徒の希望と研究室とのマッチングを改善する。</p>

様式第3号

キ	生徒・職員の安全・安心な生活環境を整えとともに、有用な予算の執行に努める。	【総務課 管理職】「大規模地震等に対する防災意識が高まり、自分のできることを実践している」と答える生徒が80%以上。 「危機対応時における対応の仕方を理解している」と答える教職員90%以上。	生徒アンケートで88.9%  教員アンケートで90.7%	A	在校時に有事が発生した際、生徒が冷静に適切な避難を行うためには、日頃から避難経路について十分に理解しておく必要がある。職員の的確な指示で、生徒が安全に避難できるよう、防災意識をより高めていきたい。 今年度の入学生から、生徒用の防災用品を持ち運びが便利なリュック形式とした。 危機対応の仕方について、職員が目につく所に掲示物等を用意し、周知を図りたい。次年度はマニュアル等の周知もさらに進める。
		【保健厚生課】「心身の健康維持、増進のために積極的に取り組んでいる」と答える生徒が80%以上。	生徒アンケートで90.4%	A	心身の状態がなかなか安定せず欠席・欠課が多い生徒が、規則正しい生活を送れるようになることが今後の課題である。
		【保健厚生課】「先生は、生徒の悩みの相談に乗ってくれる」と答える生徒が75%以上。	生徒アンケートで89.7%	A	各クラスや学年、部活、保健室、相談室などで、生徒とのコミュニケーションが比較的良好にとれていると考えている。
		【事務室】「施設・設備・物品の整備・美化に努めている」と答える教職員、保護者90%以上。	教員アンケートで97.7% 保護者アンケートで82.5%	B	施設や設備の不具合には迅速に対応している。また広大な敷地の草刈りや剪定作業を計画的に実行した。施設老朽化への対応が課題である。
		【事務室】「学校の窓口として適正な対応をしている」と答える教職員、保護者、生徒90%以上。	教員アンケートで100% 保護者アンケートで89.5% 生徒アンケートで96.0%	A	来年度も引き続き丁寧な対応に努める。
ク	業務の効率化と精選に努め、多忙化を解消する。	【管理職】「仕事の効率化と業務の見直しが図られ、心身の負担が軽減された」と答える教職員が60%以上。 「必要に応じた休暇が取れる職場環境である」と答える教職員90%以上。	教職員アンケートで73.7%  教職員アンケートで95.3%	A	今年度は最終退校時間を20時に設定し、在校時間の縮減を図った。次年度も教職員の意見を反映させた形で業務の軽量化を推進する。

様式第3号

ケ	保護者、近隣学校、地域との連携を深めるとともに、積極的な情報発信に努める。	【総務課】「本校のPTA活動が適宜見直され時代に合ったものになっている」と答える保護者80%以上。	保護者アンケートで76.3%	B	今年度は、今までの活動内容の見直しとして、地区会、評議員を廃止し、保護者の負担を減らしたが、80%以上の回答にはならなかった。来年度以降の回答を考察したい。今後もPTA活動のスリム化を実現し、持続可能なPTA活動のあり方を検討していく。
		【総務課】「教育方針や学校生活の様子及び諸情報がよく伝わっている」と答える保護者80%以上。 ホームページに加えて、SNSによる発信も検討する。	保護者アンケートで72.4%	B	今年度からInstagramを開始し、今後もSNSの発信内容について、多様な意見を取り入れ、より本校に興味を持ってもらえるものにしていきたい。
		【総務課 管理職】「一日体験入学に満足した」中学生が70%以上。中学生の一日体験入学参加者が200人以上。	98.0%の中学生が満足と回答。 一日体験入学参加者：1104人(生徒670人 保護者434人) 公開授業参加者：273人(生徒176人 保護者97人)	A	来年度に向け、アンケート結果等を参考に内容を検討していきたい。